SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ASAGIRI Town Creation PROJECT

あさぎり町
デジタル田園都市構想
推進計画

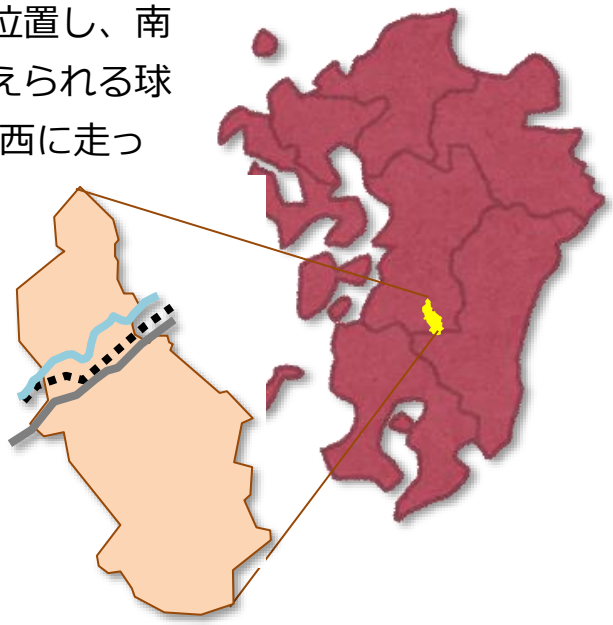
あさぎり町企業版ふるさと納税

あさぎり町
Kumamoto

町の概要

あさぎり町は熊本県の南部、球磨盆地の中央に位置し、南は宮崎県に接しており、日本三大急流の一つに数えられる球磨川、国道 219 号線、くま川鉄道が町の中央を東西に走っています。

気候は比較的温暖多雨ですが、盆地特有の内陸性気候となっており、年間を通じて霧の発生が多い地域で町名の由来になっています。



人口	14,185 人
世帯数	5,792 世帯

※令和 6 月 3 月 31 日現在

あさぎり町デジタル田園都市構想推進計画とは

豊かな自然環境や、多種多様で活気ある産業など、あさぎり町の魅力を活かしながら、これからも持続的に発展していくことを目的として事業を実施します。

3つの目標

人が集うまち（2 ページ参照）　**支え合うまち**（3ページ参照）　**未来へつなぐまち**（4ページ参照）

＜ 具体的なプロジェクト（取り組み）＞

Point① 人が集うまちプロジェクト（5ページ参照）

長期にわたり、人口の社会減が続いている本町の現状を踏まえ、若い世代の希望に沿った職場づくりや創業支援に取り組むことで、転出の抑制と転入の促進を図ります。

Point② 未来へつなぐまちプロジェクト（6 ページ参照）

人口流出防止と地域産業の活性化に向けて、若者が町内の仕事に魅力を感じて、やりがいのある仕事と安定した収入の確保ができるように町内企業改革や創業支援などを進めます。

「住みたい・住み続けたいまちを目指して」

人が集うまち

本町への転入や交流人口・関係人口の創出に取り組むことで、地域の活力を維持します。

子育て世代が「住みたい」、「住み続けたい」と思えるまちを目指します。

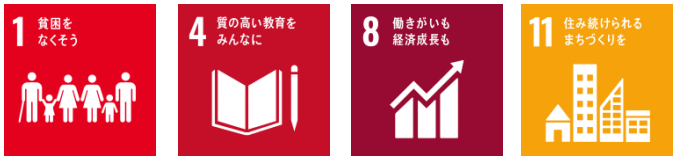
実現に向けた取組

求人情報や移住定住関連の情報発信、公園や交流拠点など地域の人が集まって余暇を楽しむことができる場の整備、出逢いの場の創出、子育て環境や教育環境の整備

創造される新たな「価値」

- **転出の抑制と転入の促進**
- **交流人口・関係人口の創出**
- **安心して結婚・出産・子育てができるまち**

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「すべての町民に生きがいと、安心安全で豊かな生活を」

支え合うまち

全ての町民が生きがいを感じながら暮らせるように、健康長寿の推進や良好な人間関係の維持、多様な人材が活躍できる環境の整備に取り組みます。

安全・安心して暮らせるまちに向けて、防犯・防災対策を進めます。

実現に向けた取組

健康長寿の推進（スマートウェルネスシティの取組）、社会的つながりの醸成、重曹的支援体制の整備、多様な人材が活躍できる環境の整備、安全・安心して暮らせる環境の整備

創造される新たな「価値」

- **健康長寿の推進**
- **社会的つながりの醸成**
- **全ての町民が安全・安心して暮らせる環境の創出**

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「新しい時代の流れを活力に変える」

未来へつなぐまち

人口流出防止と地域活性化に向けて、産業活性化や本町の地域資源・産業を活かした稼ぐ力の向上、雇用の創出、人材確保を目指します。

持続可能な社会に向けて、脱炭素、再生エネルギー導入に取り組みます。

くま川鉄道おかどめ幸福駅

実現に向けた取組

産業の活性化、地域資源・産業を活かした稼ぐ力の向上、やりがいのある仕事と安定した収入の確保、脱炭素・再生エネルギー導入の推進、町民協働・広域連携の推進

創造される新たな「価値」

- **人口流出防止と地域産業の活性化**
- **町内企業改革・若者の創業支援**
- **持続可能な地域社会の形成**

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

人が集うまちプロジェクト

（e スポーツ体験イベント「e-town ASAGIRI」の様子）

長期にわたり、人口の社会減が続いている本町の現状を踏まえ、求人情報や移住定住関連の情報発信等を行うほか、若い世代の希望に沿った職場づくりや創業支援に取り組むことで、転出の抑制と転入の促進を図ります。

デジタル技術を活用することで住民サービスの利便性を向上させ、さらに町の魅力を発信するとともに、地域外の人々との共創による地域課題の解決に取り組み、交流人口・関係人口の創出・拡大を図る事業を実施します。

公園や、地域の人が集まる交流拠点、子育て環境・教育環境を整備することで、子育て世代が「住みたい」、「住み続けたい」と思える町を目指します。

プロジェクト実現へ向けた「６つの取り組み」

①移住定住促進、空き家バンク等 UIJ ターン受入推進

②活力あるコミュニティの再構築（未来共創ｲﾍﾞﾝﾄ開催）

③快適で安全な公園整備の推進

④保育サービス及び子育て支援の充実

⑤就学前教育・保育施設の整備

⑥社会の変化に対応した教育の推進（ICT 環境整備）

未来へつなぐまちプロジェクト

（あさぎり町役場新第二庁舎に設置された太陽光パネル）

人口流出防止と地域産業の活性化に向けて、若者が町内の仕事に魅力を感じて、やりがいのある仕事と安定した収入の確保ができるように町内企業改革や創業支援などを進めます。

本町は令和５年４月28日に環境省の「第３回脱炭素先行地域」に採択されました。農業・畜産業の力をフル活用した農村地域脱炭素モデルや、あさぎり町再エネ導入戦略に関連した事業を推進します。

また、同じく先行地域に選定された千葉県匝瑳市とも連携協定を締結、本町の脱炭素事業と連携を図りながら、地域活性化を相互に図っていきます。

プロジェクト実現へ向けた「６つの取り組み」

①安定した農業所得の確保

②林業の振興

③情報化への支援（必要なデジタル人材の確保）

④温室効果ガス排出量の削減

⑤広域連携の推進

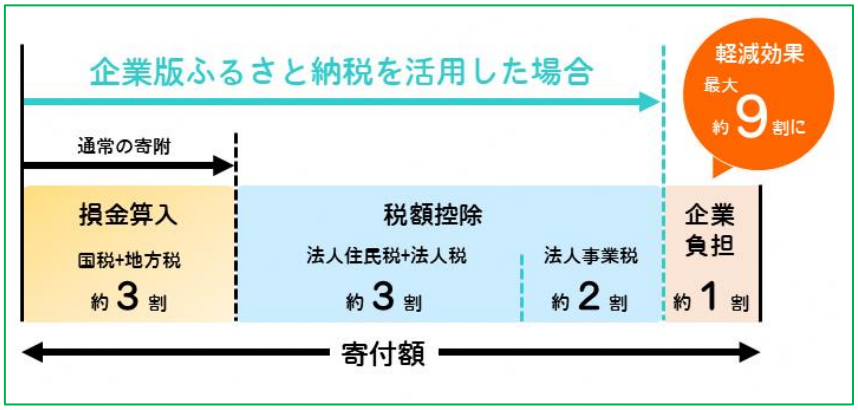
⑥町政運営指針の改革

あさぎり町企業版ふるさと納税

企業版ふるさと納税とは、内閣府の認定を受けた地域再生計画に基づき、あさぎり町が実施する「まち・ひと・しごと創生寄付活用事業」に対して、企業のみなさまが寄付を行った場合に税制上の優遇措置を受けることができる制度です。
なお、自社の本社が所在する地方公共団体への寄付については、本制度の対象になりません。

制度の概要

地方税法及び租税特別措置法に基づき、内閣府が認定した「まち・ひと・しごと創生寄付活用事業」に対する寄付を行った法人に対し、寄付額の６割に相当する額の税額控除の特別措置がなされます。
現行の地方公共団体に対する法人の寄付に係る損金算入措置による軽減効果（約３割）と合わせ、寄付額の約９割に相当する額が軽減されます。

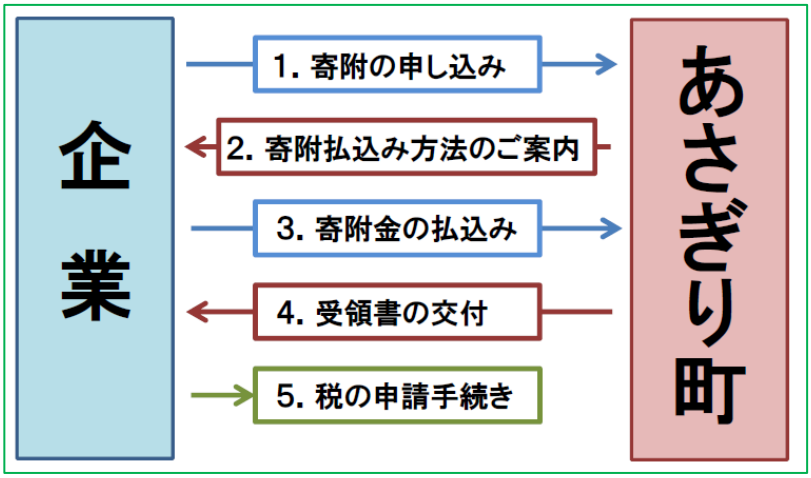


寄付手続きについて

»寄付の要件

○1 回あたり 10 万円以上の寄付が対象です。
○あさぎり町内に本社（地方税法における主たる事務所または事業所）のある法人は対象外になります。
○寄附を行うことの代償として、本町から経済的利益を受けることは禁止されています。

»申請手続き　※下図のとおり



お問い合わせ

熊本県あさぎり町役場　企画政策課
電話：０９６６-４５-７２１１　✉kikaku@asagiri.kumamoto.jp